



しいのみつうしん

第51号 2011年7月

とびひ

とびひとは正式な病名を「伝染性膿痂疹（でんせんせいのうかしん）」といいます。細菌が皮膚に感染して水ぶくれやかさぶたができ、水ぶくれはすぐに破れ、中の菌があちこちに飛び散って広がり、また新しい水ぶくれをつくります。それが“飛び火”のように広がっていく病気です。

どうして起きる

とびひはあせも、虫さされ、すり傷などを細菌のついた手でひっかいてしまうことで、皮膚の浅い傷の部分に入り込み、感染することで発症します。原因となる菌は主に「黄色ブドウ球菌」と「レンサ球菌」です。黄色ブドウ球菌は環境の中はもちろん、人の鼻の穴や耳の穴、のど、皮膚などに「常在菌」としてどこにも住んでいます。健康な肌に対しては何もないですが、皮膚のバリア機能が弱まったところに入ると、そこで菌が増殖し毒素を働かせるため、水ぶくれができます。水ぶくれの中の液には、菌や毒素がはいっていますから、この液が染み出たり、破れたりして周りの皮膚に触れると、また新たな水ぶくれをつくります。患部をかいた手で他の場所に触れるとそこに広がっていき、あっという間に全身に広がります。人にも感染します。夏に流行しやすいのは、汗をかき不潔になりやすいこと、あせもや虫さされが増えること、高温多湿で菌が増えやすいことが考えられます。プールや入浴でも感染します。最近は暖房などの影響で、冬でもみられるようになりました。

とびひは主に子供に発症しますが、大人であっても感染することはあります。ストレスや疲労などで、抵抗力、免疫力が低下しているときに、とびひの菌をもらって、発症してしまうこともあります。

早期発見で早めの治療を

早いうちに適切な治療を行えば、症状が広がるのを最小限に抑えられ、短い期間で治すことができます。放置すると症状が悪化し、なかなか治りません。感染力が強い病気ですから、他の人にうつしてしまうことにもなります。まれに、とびひの原因菌で合併症を起こすこともあります。きちんと治療しましょう。

水泡や傷、赤みができた段階で初期の治療をすることができれば、とびひになってしまう前に完治させることができます。子供の場合、一緒にお風呂に入った時などに身体全体をチェックするのもよいです。

とびひになりやすい病気

アトピー性皮膚炎の人で、とびひを合併する人が増えています。かき傷があるために、普通の人よりもとびひにかかりやすくなっています。

とびひの合併症

ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群（SSSS 症候群） 黄色ブドウ球菌が作り出す毒素が血液の中に入り、高熱をだし、皮膚が真赤に腫れて、触っただけで非常に痛がります。治療が必要です。

腎炎 レンサ球菌が原因です。腎臓の働きを悪くすることがあります。とびひが治ったあと、顔にむくみが出たら、腎炎の疑いがあります。治療が必要です。

とびひの治療 原因の細菌を退治します。

抗菌薬 原因の細菌を退治するため、抗菌薬を使います。多くの場合、塗り薬と飲み薬を併用します。

副腎皮質ホルモン（ステロイド） 炎症を抑える薬です。湿疹をかきむしったことが原因でとびひになっている場合に、湿疹を治すために使われます。

抗ヒスタミン剤 かゆみのひどい時には、かゆみ止めの薬（抗ヒスタミン薬）を使うときもあります。

- ・軟膏を塗る際、菌をもらわないように気を付けてください。できるだけ患部は綿棒などを使って直接触れないようにしてください。
- ・皮膚を清潔にし、かきむしらないようにしましょう。
- ・お風呂はシャワー浴にし、石鹸をよく泡立てて患部を洗い流したら、かさぶたは洗い流せるものは流してしまいます。あまり患部をこすらないようにしましょう。菌を洗い流し、皮膚を清潔に保つておくことが、治りを早くします。
- ・とびひは、通気をよくし乾燥させることが大切です。絆創膏を貼るのはよくありません。傷を保護したい場合は、通気性のよい薄めのガーゼに薬を塗ってあてておくとういでしょう。ガーゼは入浴（シャワー浴）時にはがして患部をきれいに洗い、再度新しいガーゼをつけるようにしてください。
- ・登園や登校は、医師、園・学校と相談して、その指示に従ってください。患部が乾くまでは、プールに入らないようにしましょう。
- ・家族にうつらないよう、タオルや衣服は共用しないようにしましょう。

再発の防止

- ・あせもや湿疹、虫さされなどは、早めに治療し、かきむしらないようにしましょう。
- ・毎日入浴し、皮膚は清潔に保つようにしましょう。爪はいつも短く切っておきましょう。
- ・幼児、赤ちゃんでは、鼻の穴をいじって傷つけ、そこにとびひが感染することが多くみられますので、保護者がしっかり見てあげる必要があります。

しいのみ薬局 関市上白金 105-1 ☎0575-27-0130 Fax 0575-27-0131

しいのみセンター薬局 岐阜市北山 1-14-27 ☎058-241-1818 Fax058-241-1839

華陽しいのみ薬局 岐阜市祈年町 1-19-2 ☎058-271-1640 Fax058-275-1949

南しいのみ薬局 岐阜市芥見南山 2-8-47 ☎058-244-2112 Fax058-244-2110

お薬や「健康食品」のことなどに関して、Eメール(shiinomi@blue.ocn.ne.jp)によるご相談もお受けしています。お気軽にご相談下さい。ファルマネットぎふ ホームページ(<http://www.pharma-net.co.jp>)